

共通点検・評価チェックリスト

政府統計コード	00600890	
基幹・一般の別(選択記入)	一般統計調査	
調査の名称	マンション総合調査	
政府内における調査結果の利活用状況 ※該当するものを選択(複数選択可)	<input type="checkbox"/>	重要な政策の立案・実施・評価の直接の根拠資料として利用
	<input type="checkbox"/>	国が給付する手当や給付金の算定根拠として利用
	<input type="checkbox"/>	月例経済報告に利用
	<input type="checkbox"/>	基幹統計の作成に利用
	<input type="checkbox"/>	○ 基幹統計以外の重要な統計の作成に利用
	<input type="checkbox"/>	その他
特記事項		

点検・評価事項等 点検・評価項目	調査計画との整合性				不整合が生じている場合の対応状況			
	整合／不整合 (選択記入)	「整合／不整合」欄が「不整合あり」の場合、 その概要等(選択・自由記入)		対応方法 (選択記入)	対応状況 (選択記入)	左記対応の概要(自由記入)		
1 調査の目的	整合	(特記事項)						
2 調査対象の範囲※	整合	調査対象地域		調査対象産業				
		その他（民間調査の追加）						
		(特記事項)						
3 報告を求める個人又は法人 その他の団体(報告者)の数等※	不整合あり	母集団情報		○ 抽出方法・抽出基準		実施方法の見直し		
		全数層・抽出層の設定		対象数の算定				
		その他（ ）						
		(特記事項) ・総務省から承認を受けた調査計画と異なる方法で調査対象を補充した可能性がある。						
4 報告を求める事項及びその 基準となる期日又は期間※	不整合あり	調査票		調査事項		実施方法の見直し		
		○ 調査期日・期間		その他（ ）				
		(特記事項) ・調査票に調査基準日を記載しなかったため、調査計画や公表物に記載された時点とは異なる時点のデータが提出された可能性がある。						
5 報告を求めるために用いる 方法※	不整合あり	○ 調査方法		調査系統・組織		調査計画の軽微変更		
		民間委託の範囲		その他（ ）				
		(特記事項) ・調査票を調査計画や公表情報と異なる方法で回収した。 ・一部の調査票を、調査計画に記載のない方法で配布していた（公益財団法人等を経由）。						
6 報告を求める期間※	整合	調査実施期間(始期・終期)		調査票の提出期限				
		調査の周期		その他（ ）				
		(特記事項)						
7 集計事項※	不整合あり	未集計		○ 未公表		実施方法の見直し		
		復元推計		その他（ ）				
		(特記事項) 集計項目の一部（4項目／490項目）を公表していなかった。						
8 調査結果の公表の方法及び 期日※	整合	公表実施時期		公表媒体				
		e-statの掲載		閲覧表				
		その他（ ）						
		(特記事項)						
9 使用する統計基準	整合	独自基準の採用		独自基準の説明				
		その他（ ）						
		(特記事項)						
10 調査票情報の保存期間及び 保存責任者	整合	保存期間		保存責任者				
		保存方法		その他（ ）				
		(特記事項)						
11 立入検査 (基幹統計調査のみ)	非該当	立入検査対象事項		その他（ ）				
		(特記事項)						
12 不整合は生じていないものの、 改善を検討（予定）している事項		検討（予定）している事項の有無 (選択記入)		検討（予定）している事項の概要 (自由記入)		対応方法 (選択記入)	対応状況 (選択記入)	左記対応の概要(自由記入)
		あり		・集計精度の向上 ・調査方法の改善 ・調査結果について、だれでも活用しやすいデータでの公開方法を検討する。 ・5年に1回の調査のため、調査のノウハウや引き継ぎに留意する必要がある。		実施方法の見直し	対応中/対応予定	・統計の精度向上のため、マクロ計算表による集計やエラーチェック等システムを用いたチェックを徹底するよう受託事業者に指示をする。 ・回答率の向上及び回答者の負担削減のため、回答しやすいインターフェースの検討や、手引きなどの案内の充実を図る。 ・調査結果の利便性向上のため、活用されやすい統計の公開方法を検討する。 ・適切な調査実施の継続性の観点から、過去の調査における調査方法やノウハウ等の引き継ぎに留意する。

(注) 「※」を付している一般統計調査の点検項目については、調査事項の10%未満の変更等、承認を要しない「軽微な変更」の範囲や公表内容との整合性に留意して点検を実施。

Ⅱ 必要な精度の確保・向上の観点	1 調査の実施目的を確保するための精度管理の実施状況	目安としている指標の設定状況			目安としている指標の具体的推移 (自由記入。別紙も可)		
		精度管理の目安としている指標区分 ※該当するものを選択 (複数選択可)	目安としている指標の具体的な設定内容・考え方等 (自由記入。別紙も可)	目安としている指標の設定時期 (自由記入)	今回調査 (又は前回調査)	前回調査 (又は前々回調査)	前々回調査 (又は前々前回調査)
		<input type="checkbox"/> 達成精度(実績精度)	マンションの分布について地域差があるため、1,000管理組合以上ある都道府県を大規模都道府県とし、その他の県については地域ブロック毎にセル化を実施。21地域を基本として、回収率50%で各地域の標本数を確保した。	平成30年度の調査計画 設定時	平成30年度調査 管理組合：40.2% 区分所有者：38.2%	平成25年度調査 管理組合：63.8% 区分所有者：65.4%	平成20年度調査 管理組合：47.9% 区分所有者：49.3%
		<input type="checkbox"/> 回収率・回答率					
		<input checked="" type="checkbox"/> 回収標本数					
		<input type="checkbox"/> カバレッジ					
		<input type="checkbox"/> その他					
		<input type="checkbox"/> 設定なし					